

議 事 録		作 成 日	令和元年 8 月 23 日(金)
		作 成 者	建設部 上下水道課
会議名	第 1 回 宮津市水道使用料金等審議会		
開催日時	令和元年 8 月 22 日(木) 14:00~15:30	開催場所	宮津市役所 第 5 会議室
出席委員	藤本 長壽 : 宮津市自治連合協議会 会長 黒岡 芳子 : 宮津市地域女性の会 会長 藤原 高広 : 宮津地区労働者福祉協議会 会長 山口 孝幸 : 宮津商工会議所 専務理事 (同会頭 今井 一雄氏 代理) 西村 正大 : 宮津天橋立観光旅館協同組合 理事 三好 ゆう : 福知山公立大学 准教授 四蔵 茂雄 : 舞鶴工業高等専門学校 教授		

内 容	
1	挨拶 <ul style="list-style-type: none"> ・城崎宮津市長より開会にあたっての挨拶
2	委員紹介 (資料「委員名簿」)
3	宮津市水道使用料金等審議会について (資料「宮津市水道使用料金等審議会の概要」及び「設置要綱」) <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より当審議会の概要及び今後の予定について説明 ・審議会の開催回数は計 5 回を予定 ・審議会は非公開とし、議事録等を後日公開とする。
4	会長及び副会長の選出 <ul style="list-style-type: none"> ・会長として、今井一雄氏 (宮津市商工会議所 会頭) を選出 ・副会長として、藤本長壽氏 (宮津市自治連合協議会 副会長) を選出
5	水道使用料金等の見直しについての諮問 <ul style="list-style-type: none"> ・市長より、水道使用料金等見直しについて諮問 (資料「水道使用料金等の見直しについて (諮問)」) <諮問概要> <ul style="list-style-type: none"> ・宮津市の水道を取り巻く環境は、給水人口の減少に伴う料金収入の減少が続く中、老朽化施設等の更新需要に対応していかなければならない非常に厳しい局面を迎えようとしています。 ・これまで市民のみなさんの生活や経済活動を支えてきた水道の恩恵をこれからも享受できるよう、水道事業の健全な経営を図るため、水道使用料金等の見直しについて、宮津市水道使用料金等審議会に諮問する。
6	水道事業の現況と施設整備計画について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明 (資料「宮津市水道事業ビジョン」及び「経営比較分析表」) <説明概要> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「水道事業の現況と施設整備計画 説明要旨」のとおり。

内 容

<質疑>

- ・浄水場が 25 箇所あり、人口規模にしては多いと感じる。施設の統廃合等の可能性は。
→統廃合が可能な施設については、統廃合を進めてきた。将来的に 4 施設の廃止を見込んでいるが、それ以上の統廃合は本市の地理的要因を考慮すると難しい。大きな課題の一つである。(事務局)
- ・府内の料金体系はどうなっているのか。
→宮津市の水道料金は、平成 29 年度決算時で府内で 10 番目に安い料金となっている。
府内市町村の料金についての詳細は、次回の審議会でお示しする。(事務局)
- ・利用者が少ない地区の浄水場については、地元自治会で管理していただき費用を抑えることはできないのか。
→過去、各地域が管理していた浄水場を、行政が責任をもって安全な水を供給するという視点から市の管理に移行した経過がある中で、地元自治会に管理を戻すことは、現時点では考えていない。(事務局)

<意見>

- ・水道事業の最も重要なことは、「安全で安心な水」を市民に供給することであり、料金改定を行わない結果、水の供給ができないといったことになるのは本意ではない。
- ・宮津市の水道事業の現状を理解すれば、料金改定が必要なこともある程度理解できる。市民に料金改定の必要性を理解してもらうことが最も大事なことだと考える。広報のあり方も含め、その点を重視していただきたい。
- ・料金を値上げするのであれば、現状のサービスに何かしらの付加価値をつける工夫を検討してもらいたい。
→付加価値をつけることができるかどうかについて検討が必要である。しかしながら、水道事業として安全な水をより安価な価格で供給することが利用者のニーズだと考えており、付加価値をつけるために費用が増加することは避けるべきと考えている。(事務局)
→「安全で安心な水」がいつでも利用できる状態にさせていただいていることが付加価値だと考える。(委員)

7 その他

- ・次回の審議会は、令和元年 10 月 2 日（水）午前 10 時から

